

大草谷津田いきものの里 自然観察会

旅するタネ

佐藤 一枝 (千葉市)

日 時：2012年11月18日(日) 10:30~12:00 天候；晴れ

参加者：6名

指導員：田井中信子 佐藤一枝

植物の種子は、親植物に完全に熟すという旅支度をしてもらいます。胚乳や子葉を持って旅立たっていく種子の様子を観ていきました。

森に入るともうイノコズチなどがズボンにひっついていて… ひっつき虫です。小さな布に実を付けてその戦略をルーペで観ると

イノコズチ・根元の針状の苞	ケチヂミザサ・長い芒が粘る	ミズヒキ・柱頭の先が鉤針
ヤブタバコ・果実の先端の粘液	ヌスビトハギ・果実の表面にかぎ状の毛	

と動物や鳥に運ばれていくことが分かりました。

クロヤツシロランは丈を伸ばし、種を飛ばして鞘はぼんぼりのようです。

谷津田は“あったか〜い”陽だまりで、落ち葉を踏みしめ、ドングリを拾い、オオモミジのプロペラを少し採取した。サルトリイバラ、メギ、トキリマメを観察。ムラサキシキブは甘い・コバノガマズミは甘酸っぱい…

これなら小鳥も大喜び---と。

水散布は小川で実験…短い暗いトンネルを上手く貫けられるかな？ まずジュズダマを10個流す…1個出てこない？ よろよると出てきてほっとした。マテバシイ、クルミ、トチの種子、マツボックリと流して何秒で出てくるかと数えて待ち、楽しんだ。

トチの種子は沈むかと思ったのに浮いている！

そして網で全部回収した。

風散布：アルソミトラ・マクロカルパ(ウリ科・つる植物・熱帯アジア産)の種子の模型を飛ばそう。実物は薄く大きく、グライダーのような翼でびっくり。花や実を写真で紹介。模型は包装紙の翼、種は少し厚めの紙で、円形に切り用意した。各自で翼に種子を貼り飛ばす、が滑空しない。翼を反らすなど工夫し挑戦しても、上手くいかない。各自で工夫してみて下さいとお土産にした。(フタバガキやモミジの模型はよく回った)。

まとめ；田井中指導員が大草は種の種類が少ないので、と採取したものを説明しながら散布別に分類すると、アキニレ、ナンキンハゼは野鳥が大好き、タチバナモドキ、ナンテン、マンリョウも食べます、でもクロガネモチはまずいのか最後まで残っていますね、と鳥散布の会話がはずむ。次々と観察して終わりました。

感想：①アルソミトラの種が大きくて驚いた。②小鳥の気持ちで木の実を味わった。

③トンネルから種が全部流れてきてよかった。④子どもの声が聞かれず寂しかった。

